

函館市役所労働組合連合会との交渉の概要

- 交渉日時 平成24年6月7日(木) 18:00～19:15
- 交渉場所 市役所8階第1会議室
- 出席者 当局側 中林副市長, 企業局長, 病院局長, 他 計16名
組合側 長谷川中央執行委員長, 他 計9名

交渉項目	給与制度の見直しについて(第1回目)
交渉要旨	<p>中林副市長から提案について説明。その後, 人事課長から詳細を説明。</p> <p>(組合) なぜ, この時期の提案になったのか, 合理的な理由を説明してもらいたい。</p> <p>(当局) 1点目は昨年の給与に関する提案をした際に, 交渉期間が短かったためであり, 2点目は財政の中期的な見直しにもあるように, 今後財源不足が増えていくことを踏まえ, 事務事業の見直しとともに, 職員給与についても見直しが必要になることから, 早い時点でその必要性について理解を得たいと考えたためである。</p> <p>(組合) まずは昨年の給与削減, 事業の見直し等の検証が行われるべき。そのうえで平成23年度決算見込みや, 今年度の交付税額さらには, 今後の財政状況を見据えて提案すべきである。</p> <p>(当局) もちろん, 今後の協議の中で, それぞれについては議論していきたいと考えているが, 平成24年度予算でも, 職員給与を削減し, さらに「交通料金助成」などの市民サービスを見直しても, 20億円の収支不足であり, 依然として市の財政は赤字体質である。そうした財政の危機的状況そして給与制度の見直しの必要性を理解してもらいたい。</p> <p>(組合) 昨年の交渉でも当局は「平成23年度の決算見込みや交付税の状況を</p>

	<p>見て、改めて協議したい」と言っていた。今回の提案内容について、その必要性や削減率を10%にした根拠が示されないままでは、交渉できない。</p> <p>(当局) 今後も財源不足が生じる。平成27年度以降はさらに大きく財源が不足する。そうしたことを踏まえ、十分に議論したいと考え提案をした。</p> <p>(組合) 平成23年度決算見込みも9.8億円の黒字と聞いている。すでにプラン素案の財政見通しがずれているのではないかと。</p> <p>(当局) 形式的には黒字になるかもしれないが、決算においても退職手当債を借りている状況である。いずれにしても平成27、28年度にはさらに厳しさが増すものと考えている。</p> <p>(組合) 見込み程度のものでも削減提案とは納得がいかない。給与の削減は、合理的な理由が必要であり、その必要性、合理性が示されていない。どのような財政状況で、どのような対策を行ったのかを説明した上で職員給与の削減の根拠を示すべきである。</p> <p>(当局) 今後各種財政状況の資料などについて示しながら、改めて協議したい。</p>
交渉結果	(交渉継続)
備考	

(総務部行政改革課 平成24年6月8日現在)